

令和8年度第1回厚別警察署協議会議事概要

開催日時	令和8年6月26日（金）午後3時30分から午後4時25分までの間	
開催場所	厚別警察署 大会議室	
出席者	委 員	警 察 署
	会 長 渋谷 ヒ ロ 子 副会長 牧 野 恵 美 委 員 秋 島 玉 江 小山内 康 徳 杉 山 正 一 柄 澤 尚 江 三 上 睦 子 山 本 大 輔 佐 藤 信 一 郎 協議会委員 計9人（定員9人）	署 長 岩 船 理 子 副 署 長 浅 野 亮 刑事生活安全官 谷 高 弘 地域交通官 川 岸 健 司 北広島交番所長 熊 井 俊 光 （事務局） 警 務 課 長 安 沢 博 実 警 務 課 主 任 警察署 計7名

1 開会の辞

2 会長挨拶

会長になってからあっという間に1年が過ぎました。聞きたいこと、知りたいことなど各員さんの立場から発言していただき、活発な協議会になって欲しいと思っています。

警察の方には日頃から地域の安全を守っていただきありがとうございます。

私は北広島市の消費者センターで消費生活相談員をしており、消費者と事業者のトラブルに対して助言、斡旋をしています。

最近、通信販売のトラブルが相変わらず多く、偽サイトでの商品購入し前払いをしたが商品が送られてこない。

1回だけの購入が定期購入になってしまい、解約が難しい場面もあるので、皆さんも注意してください。

警察の方、継続の委員の方どうぞよろしくお願いします。

3 署長挨拶

厚別警察署長の岩船でございます。本日は、大変お忙しい中、厚別警察署協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃から警察行政に深いご理解、ご協力を賜っておりますことにこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

令和8年度第1回目の協議会となりますが、本年も引き続きよろしくお願いいたします。

警察署は、定期異動によりまして、刑事・生活安全官、北広島交番所長、警務課長が変わり新体制となっておりますので、改めてよろしくお願いいたしますと思います。

それでは、本日の協議会についてですが、本年1月から5月末までの管内の犯罪情勢、交

通情勢、警察署の主な活動につきましては、警務課長の方からご説明させていただきますが、最近の情勢としては、特殊詐欺が後を絶たず、今月に入りましても

厚別区内の50代の男性が、SNSの投資の広告からLINEのグループに誘導されて、投資の先生やアシスタントを名乗る者に株式投資を勧められ、現金や暗号資産など約400万円をだまし取られた事件

厚別区内の80代女性が息子を名乗る男から「契約のためのお金の入った鞆を置き忘れた」と電話があり、上司の甥っ子と名乗る男に現金を手渡し、さらに息子からこれから不足分を取りに行くと言われ、敷地内に現金約400万円の入った紙袋を置かされ、それをだまし取られた事件

などが発生しているなか、本日の新聞報道でご承知かもしれませんが

厚別区内に居住する80代の女性が約1億円の被害に遭うという残念な事件が発生してしまいました。

この手口は、はじめに通信事業者を名乗る者から「携帯電話が不正に契約されています」と連絡があり、その後、捜査二課の警察官を名乗る男や検察庁の職員を名乗る男から、「マネーロンダリングの被疑者として浮上している。」「預金が犯罪収益でないか確認する」などと言われ、預金を引き出して現金を渡すように指示され、自宅前に紙袋に入った現金を置き、取られてしまったという事件になります。

先ほどお話しした息子を語った事件では、犯人は息子の名前を名乗っていたために、詐欺とは見抜けなかったそうです。

お手元に警察庁推奨アプリのチラシをお配りしていますが、国際電話やこれまで特殊詐欺の犯人グループの電話として把握してる電話番号からの電話を受けないまたは怪しいとお知らせするアプリです。

後ほど、刑事生活安全官の方からアプリのダウンロードについてご説明をさせていただきます。

特殊詐欺の被害に遭わないために一番重要なのは、手口を知ること、そして犯人からの電話を物理的に受けないことだと思います。

警察といたしましても、手口や防犯対策についての周知活動を強力に推進して参りますので、皆さまもご家族など是非話題にいただければと思います。

本日は、委員の皆様からは是非忌憚のないご意見やご提案をいただきまして、今後の警察活動に役立てさせていただき、事件事故のない安全な地域づくりのために署員一丸となって邁進していく所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

4 警察署協議会委員からの事前の意見・要望に対する回答

(委員)

4月から自転車の交通ルールが変わりました、変わる前と比べてよりルールを守るようになっているのでしょうか。

通勤、通学時間帯はどうなのでしょう。

(回答)

自転車の交通ルールは、一定程度浸透しているとみられます。交通安全講話や街頭啓発を通じて浸透を図っているところ、学校や自治体から講話などの要請を受けたり、一般の方から交通課宛てにルールを問う電話があるなど、関心が高い状況にあります。

通勤、通学時間帯は、新さっぽろ駅周辺の「自転車指導啓発重点地区・路線」を中心に啓発活動、指導を行っているおり、一定程度浸透しているとみられます。

(委員)

北広島市に野球場ができて4年、たくさんの方が来場していてとてもうれしく思います。

交通渋滞も緩和されつつあるようですが、駐車場など野球場関連で苦情・意見などはあるのでしょうか。

(回答)

警察署への苦情や意見には接していません。

なお、球場敷地内の駐車場の収容台数が少ないことについての意見を聞いたことはありますが、周辺の外部駐車場を活用することで解消が図られていると聞いています。

(委員)

精神疾患が疑われる方（認知症のBPSD含む）で受診を拒否している方の対応をすることがあります。

暴れている、もしくは自傷行為等がある場合、以前は精神保健法第23条の行使で警察の協力を仰いでいたことがあります。北広島市でそのようなケースの支援は最近ありますか？

(回答)

本年4月以降、北広島市でいわゆる「23条通報」に至った事案はありませんが、23条通報の要件に該当しない場合であっても、精神保健医療福祉に関する支援が必要と認められるときは、北広島市や千歳保健所に対し、精神保健福祉法第47条に基づく相談・情報共有により、適切な医療施設の紹介を行うなど、幅広い対応をしています。

他方、北広島市や千歳保健所が主体で支援に関与している事案において、警察官が臨場を要請される場合もあり、このような場合の対応や協力が適切かつ円滑になされるよう、定期的に『北広島市と厚別警察署の連携推進会議』を開催し、連携する機関の機能と限界・専門性を共有するなど「顔の見える関係」の構築に努めています。

(委員)

認知機能の低下している方で、特に認知症の診断は受けていませんが、車の運転を止めようとしません。

90歳と高齢で身体機能や反射機能が低下しているけれど、運転免許を更新できたことが自信に繋がってしまい、運転を止めようとし、ご家族が苦慮していますが、お力を借りることは可能ですか。

また、その場合、どのようにお願いすると良いでしょう。

(回答)

身体や反射機能が低下しているという情報であれば、具体的な状況を聴取し、運転を継続することに支障がある可能性がある場合は、厚別警察署交通第一課にお問い合わせください。

相談に応じます。

(委員)

一人暮らしで家族が遠方の高齢の人が免許更新をし、周りが心配しているがどうしたらよいでしょうか。

車でいなくなっても気づかないと大変です。

(回答)

運転の頻度をメモしておき、早期に連絡していただければと思います。

最終的には運転手の判断となり、運転免許証がないと生活できないという人もいて、難しい現状ではあります。

そういう高齢者には、返納するとタクシー券等がもらえるなどのメリットを伝えるなど

し、返納への意識付けを図っていけば返納を考えるのではないかと思います。

5 業務概況説明

6 協議事項

特殊詐欺被害防止対策について

- ・ SNS型投資詐欺事件発生状況
- ・ 最近の主な手口
- ・ 被害抑止方策

7 質疑応答、その他、委員からの要望意見等

外国人の増加に伴う治安情勢について

(委員)

厚別区は外国人の人口が、4年間で1.8倍に増えていますが、外国人の事案は増えて
いるのですか？どこの地域が多いのですか？

困っている外国人のフォローや交流事業も行っていますが、実態がつかめません。

(警察)

長くいる人と短くいる人がおります。

技能実習生や大企業、地方の第一産業にもどんどん入ってきています。

い集して騒いだり、落とし物をしたり、物損事故などの事案はありますが、どこまで
増えているかは申し上げられません。

近年は、全国的に死亡交通事故や人身交通事故が多発しており、日本の運転免許証へ
の切り替えも厳しくなっています。

当署管内では、犯罪者としての扱いは把握していません。

(委員)

わかりました。ありがとうございます。

外国人に関してサポートしていかなければならないので、お互い協力していきたいと
思うので、よろしくお願いします。

8 その他

- ・ 令和8年度第2回警察署協議会開催予定について
令和8年9月に予定

9 閉会の辞

10 特殊詐欺対策について

警察庁推奨の特殊詐欺対策アプリのダウンロード方法について説明した。

11 交通事故防止体験

車両運転シュミレーターを利用し、判断動作、俊敏性を再認識することで交通事故防止体
験したもの。